

教授 久野 利博

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎教育方法の実践例 デザイン実技Ⅲ-1</p>	<p>2016. 4～7</p>	<p>「場・サイト」による環境造形 金属の溶断、溶接技術を取得しながら、独自のフォルムを見つけたす眼を養う。学内の建物のディテールから気になる場所のカタチを見つけ、その「場」から発想した造形をする。キャンパス内の特定の「場」に作品を設置することで、場所と造形空間との関係から環境造形が生まれる。又、設置した作品を写真撮影し、B2パネルにまとめ視覚化する。 ①課題説明、場のリサーチ、撮影 ②イメージドロ잉 ③模型制作 ④金属制作 ⑤制作 ⑥制作（金属に彩色） ⑦作品設置 ⑧写真撮影 ⑨パネル制作 ⑩講評</p>
<p>デザイン演習Ⅱ-2</p>	<p>2016. 9～12</p>	<p>創作現場（空間・インスタレーション）について美術家たちが、どのようにして作品を生み出して来たか。創作における「素材」と「空間」について考察し表現者たちの現場をDVDなどで具体的に詳しく取り上げ、その特徴、作家、時代背景などを講義する。各自が理解した上で、ミニ演習（インスタレーション1/20の模型とB2パネル展示）を体験する。 ・主な講義内容 ①建築の色とデザイン ②2つの礼拝堂 ③インスタレーションアート ④フィンランドデザイン ⑤日本と韓国の建築 ⑥クラフトの世界 ⑦国際展について ⑧世界の美術館 ⑨自然について ⑩ミニ演習 ⑪総評</p>
<p>デザイン実技Ⅱ-3</p>	<p>2016. 9～12</p>	<p>手仕事から“物づくりの表現”を考える。鉄の溶断、電気溶接技術を習得しながら、金属を切ったり、たたいたりする作業の中で、美しいフォルムを見つけたす体験をする。素材と向き合うことから、自己表現へと高めていく。 テーマ① 小石制作（実物の小石を参考） イメージドロ잉する 鉄板を溶断し、ハンマーで鉄を叩き、溶接しながら「小石」のカタチにする。 テーマ② スプーン制作 金属、その他の素材を使い、制作したスプーンを額の中に入れ、平面構成する。 テーマ③ キャンドルスタンド制作 鉄板をプレス機などを利用し、幾何形態などに仕上げる。 総評（DVD参考にしながら、創作について考える）</p>
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
<p>名古屋芸術大学 教員展</p>	<p>2016. 6. 10～6. 15</p>	<p>名古屋芸術大学Art &amp; Design Center（北名古屋市） 毎年6月のオープンキャンパスに学内外の学生に、名古屋芸術大学美術学部、デザイン学部教員作品を観てもらおう企画展。</p>

デザイン学部 クラフトブロック企画 「素材」展	2016. 7. 29～8. 10	メタル&ジュエリーコース、テキスタイルコースの前期課題作品を展示。又、クラフトブロック教員作品を同時開催する。
-------------------------------	-------------------	---